

# ふらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第72号

古牧だより通算166号

## 第2次地域福祉活動計画によせて

古牧地区住民自治協議会 会長 小林 逸郎

古牧地区第2次地域福祉活動計画の完成にあたり、お祝いし一言ご挨拶申し上げます。

私たちの暮らしている古牧地区は、かつては水の豊かな肥沃の地、穀倉地帯として栄え、ここに暮らす人々は支え合い、助け合いながら育んできた地域でありました。時代の変遷とともに私たちの地域も大きく様変わりしました。日本経済の高度成長期を境に都市化の進行、少子高齢化や核家族化の進展、生活スタイルの多様化、人間関係の希薄化、人権問題など地域に住む人々の生き方が今、大きな転換期を迎えております。このような地域社会情勢から多種多様な福祉課題が顕在化してきており、地域住民のニーズも様々で福祉に対する期待は益々大きくなっています。

このような現状の中で平成22年、住民自治協議会が地域を担う組織としてスタートしました。

「自分たちの地域は自分たちでつくる」という基本方針のもと独自の事業に取り組んできました。

福祉は今、地域の最重要課題の時代を迎えています。第2次地域福祉活動計画書には「支え合い・助け合い・みんな元気で幸せなまち、そんな古牧を目指して」とのスローガンを掲げています。特に子育て・介護・障害者・ひとり暮らし高齢者などの支援制度が大きく変わる中で、地域の助け合いによって支える自立と共助の力が必要となりました。生れてから死ぬまでどんな暮らしをしていても、心の通い合う助け合いはひとびとが心豊かに暮らすために不可欠です。支え合い・助け合い・元気で生きることは、いつの世も変わることのない地域に根付いた福祉の合い言葉です。

行政との協働の関係を、より強固に築きながら地域力を高め、次世代を見据えた新たなコミュニティづくりが求められており、ボランティア活動拠点整備が直面している課題でもあります。

最後に、これまで活動計画の完成にご尽力された福祉役員の方々、関係者の皆様にあらためて御礼申し上げます。(本文より抜粋)

## 第2次地域福祉活動計画完成までの経緯

長野市地域福祉計画に基づき平成26年5月、福祉部会が中心となり第2次地域福祉活動計画づくりの検討に着手しました。7月に関係者の本格協議、8月に住民自治協議会長はじめ、各区分長、福祉関係団体との全体会議を開催し、第2次地域福祉活動計画として捉える課題について協議した他、地域住民へのアンケート実施などを決定し9月から本格的な作業に入りました。

11月から計画原案の作成について幹事会が中心となり検討を重ね、関係者協議・説明会などを経て平成27年4月、新たな活動計画に基づく福祉事業を始めることとなりました。

福祉活動計画に織り込まれている私たちの願いが着実に古牧地区全体に広がり、地域の皆が豊かで幸せな日常が送れますよう、ひとり一人が主役者意識を持ち活動の輪を広げていきましょう。

## 第2次地域福祉活動計画の目標

私たちが目指すまちづくり それは 福祉のまち「古牧」をつくることです。

誰もがみんな、自分らしく生き生きと暮らしていける、支え合い、助け合い、「こんにちは」「ありがとう」のあいさつが飛び交い、笑顔が輝く古牧を目指します。  
そんな古牧をつくる主人公、それはあなたです。



### 活動計画

#### 交わる・集う

- **あいさつ運動・声かけ運動** 大人も子どもも皆であいさつ。あいさつが飛び交うまちづくりに声かけあって取組みます。
- **お茶のみサロン** 高齢者はもとより幅広い世代の皆さんを対象に各区で開催します。お茶を飲みながら楽しくおしゃべりしたりみんなで歌を唄ったり、体を動かしたりして交流を深め元気づくりに取り組む事業です。
- **身近なところで人と人のつながりが広がっていくよう取組みます。**
- **ふれあい会食** ひとり暮らしの高齢者や介護者の皆さんを対象に昼食会を行います。皆で一緒に楽しく食事をし、明日への鋭気を養い元気で暮らしていけるよう福祉推進員・民生児童委員がお手伝いします。

- **男性の料理教室** 調理実習を通じて仲間づくりを目指します。男女共同参画社会の到来と言われ久しい今日、男性も料理づくりによる自立を目指したり家庭での介護支援などに役立つように食生活改善推進協議会の協力を得て取組みます。
- **世代間交流事業** 小中学生と保護者、老人クラブの皆さんなどが、グラウンドゴルフ・マレットゴルフなどのスポーツを通して交

流をはかる事業です。多彩な事業を通して世代間交流の輪を地域に広げます。

- **健康づくり事業** 運動や食生活の在り方等について参加者みんなで問題意識を共有し学び、生活習慣病や認知症予防等に取り組めます。超高齢者社会を迎えて、健康寿命を長くする取組みが求められています。さらに充実した事業として定着するよう努めていきます。

## 支え合う・助け合う

- **子育て支援事業** 子育て中の保護者にとって、素晴らしい居場所となることを目指し内容の充実を図ります。キメ細かな開催情報の提供、子育て支援広場のネットワーク化の推進、子育てボランティア要員の増強やノウハウの習得などに積極的に取組みます。
- **ひとり暮らし高齢者の集い** ひとり暮らしの方が増えている現状からひとり一人の思いに耳を傾け互いに気持ちを共有する機会を設け安心して充実した日々を送れるよう支えていきます。
- **介護者支援事業** 介護生活で奮闘・努力している皆さんの悩み、介護者としての気持ちの持ち方や介護方法の工夫など介護者の皆さん共通の話題について情報交換し元気に暮らせるよう取組みます。また、介護者の集いや何でも相談などを通じてリフレッシュして頂く機会を持って頂けるよう活動します。
- **希望の旅** 障害者の皆さんを支えたい、そんな思いで一層楽しい事業となるよう、関

係団体と協力して内容の充実を図り実施します。

希望の旅参加を通じて参加者同士の日々のお付き合いが始まることを期待し取組みます。

- **地域たすけあい事業「福祉移送」** 歩行困難な皆さんを対象に始めた福祉自動車「あいりーん号」は地域の足として定着してきましたが、高齢化社会の進展により利用ニーズがたかまっていることから、運転協力員の協力を得て今後も一層のサービス向上に努め取組んでいきます。
- **地域たすけあい事業「家事援助」** ひとり暮らし高齢者など日常生活で家事に困っている皆さんを対象に地域住民の有償ボランティアが支援する「家事援助」にこれからも一層力を入れて取組みます。
- **相談事業** 健康・介護・子育てや日々の生活における困りごとなどについての相談の機会として三陽保健センターや地域包括支援センターの専門家の協力を得て取組みます。

## 知る・学ぶ

- **福祉大会** 住民全体で地域福祉の在り方や福祉問題を共有し古牧地区に支え合い・助け合いの風土が根付いていくよう福祉大会を開催します。
- **地域福祉懇談会** みんなが幸せに暮らせる「福祉のまちづくり」のために今何が問題で何をなすべきか、日頃感じている福祉課題や要望などについて自由に話し合う取組みです。

懇談会で話し合われた内容は全体で集約し、これからの取組みに活かしていきます。

- **福祉情報交換会** 各区で開催するサロン事業やふれあい事業、子育て支援事業などについて、その活動内容や活動方法について情報交換します。区の特徴を活かし参考にしながら魅力的な活動となるよう、大勢の皆さんの参加が期待できるよう取組みます。

- **福祉関係団体・機関との意見交換会** 福祉関係団体長会議などを通じて、地域の福祉課題を共有しながら課題解決に取り組むほか認知症、介護制度など専門分野の課題には地域の福祉関係機関との協力関係を強化し取り組んでいきます。
- **福祉情報広報活動** 大勢の皆さんに事業の取り組みを知っていただくために全戸回覧や、ぷらネットこまき、住民自治協議会のホー

ムページを活用するなどして広報活動に力を注ぎます。

- **各種福祉講演会・研修会の充実** 住民の皆さんが学ぶ研修の機会を作り、健康で豊かな生活となるよう努めます。また、役員や関係者が率先して認知症・介護保険制度等の理解や、健康管理、社会福祉の諸制度について学ぶことにより地域のリーダーとしての資質を高め、日頃の取り組みに活かします。

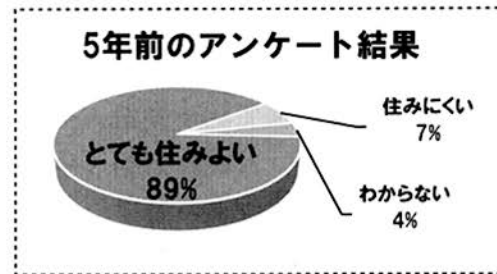
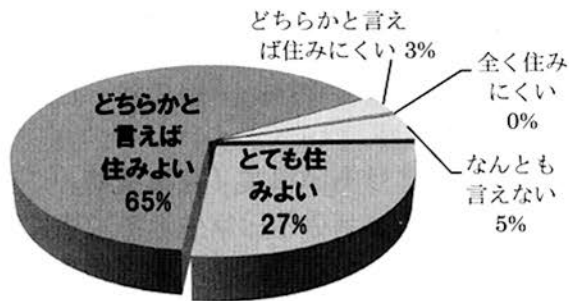
## 活動推進体制の充実

活動計画の体系に示す「交わる・集う」「支え合う・助け合う」「知る・学ぶ」、この三本柱の活動が地域の皆さんの期待に応える活動として定着させていくためには、その推

進体制の強化充実が急務であり、具体的には担い手の発掘、ボランティア要員の増強、各種団体・機関との連携、活動の担い手の研修などに取り組みます。

## 住民アンケート 1,242名の皆さんから回答いただきました。

住民の皆さんの声を大切に、福祉活動を進めていきます。



## 福祉関係団体・福祉関係機関の紹介

第2次地域福祉活動計画書では、古牧地区福祉活動の担い手である民生児童委員協議会・老人クラブ連合会・赤十字奉仕団・更生保護女性会・保護司会・食生活改善推進協議会・身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・ボランティア古牧・三陽保健センター・地域包括支援センターニチイケア高田・森と木・長野市社会福祉協議会の事業取り組み内容を紹介しています。

### 古牧地区の世帯数と人口

27年3月1日現在

10,948 世帯

26,581 人

(男 13,070人 女 13,511人)

## 地域福祉活動計画書の活用

完成した計画書は予算の関係から、各区の区長、福祉推進員、保健補導員、子育て支援担当者、民生児童委員、育成会、PTA、公民館、老人会などの役員の皆さんにお届けいたしました。

詳細内容を知りたい方は役員にお申し出頂き、ご覧頂きたいと思います。



- 発行所 古牧地区住民自治協議会 (電話 259-8359)
- 発行者 小林 逸郎
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈲小池印刷